

令和4年度 学校評価報告書

学校番号(小33) 長崎市立(城山小)学校

1 教育目標

一人一人の子どもに、平和な未来を築くための「生きる力(学ぶ力)」を育てる教育を実現する。
 いたわり はげます 平和な学校

2 学校経営方針

県や市の教育方針等に則り、本校の学校経営を次のように進めていく。

(1) 基本理念

- ① 本校の使命ともいうべき【平和教育】を土台として、平和な未来を築こうとする豊かな心をもった児童の育成をめざす。
- ② 子どもを成長させることが学校の最大の責任である。
 【すべては子どもたちの成長のために】
 ・どの子どもも伸ばしたい、変わりたいと願っている
 ・教師が変われば子どもも変わる…学び続ける教師でありたい

(2) 基本方針

- ① 基本理念に基づき、地域の特性と児童の実態の上に立った特色ある教育を推進する。
- ② 時代が要請する新しい教育の方向を見極め、一人一人の児童の生涯に生きて働く資質や能力の育成を図ると共に歴史と伝統を大切にしながら、21世紀の国際社会に貢献できる、人間性豊かな児童の育成に努める。
- ③ 教師は、協働体制のもと教育愛を基盤として、自らの人格と資質の向上に努め、確かな学力と豊かな心の育成に努める。
- ④ 危機管理、児童・教職員の安全確保に努めながら、開かれた学校づくりを推進する。

3 重点目標

<方策1>
平和希求・生命尊重・人権尊重の精神を基盤とした平和で温かな学校づくり。

<方策2>
「平和は城山から」の継承と発信

<方策3>
一人一人の子どもの自尊感情・自己肯定感を高める

<方策4>
互いを認め合い、力を合わせてよりよい学校生活を創っていこうとする支持的風土の醸成

<方策5>
教師の協働体制による子どもの育成。 *チーム城山

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	88	97	96	「学校の雰囲気」や「組織運営」は、高い評価を得られた。昨年度よりも5%以上上昇した。 「業務の改善」については、昨年度とほぼ同じ数値で80%を下回った。校務支援システムを活用して「会議時間の短縮」「事務処理の軽減」、安心メールを活用して「欠席確認」「文書の配布」などを改善を図ってきたが、コロナ禍の対応もなかなか教職員の意識も高まっていない現状である。今後は、学校行事の見直しやICT機器を有効に活用したりしながら、業務の縮減・効率化を図っていききたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	91	98	96	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			96	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			77	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92	98	92	「心の教育」において、全般的に数値は高くなっている。ただその中でも、「あ・は・は運動」に関しては児童・教職員の数値が低く、昨年度よりも5%以上低下していた。これを受けて早急に全教職員でこのことを認識し、各学級で児童に指導し浸透を図った。また、年度初めにプリントを配布しているが、その際も各学級で確実に指導すること・年間をとおして継続して指導していくことを実践していききたい。さらに、育友会とも連携し、学級懇談会でのテーマにするなどして、意識の向上を図っていききたい。
		挨拶をよくしている	87	94	92	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	69	83	60	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	85	89	92	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	90	82	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	97	93	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	99	100	100	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている		88	92		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92	97	100	「将来の自立に向けた指導」では、昨年度よりも6.1%上昇した。ただ、児童・教職員と保護者の数値に開きがあった。学校では、将来に向けた指導を実施しているものの、そのことが保護者に伝わっていないことがわかった。今後は、学校だより等で発信していききたい。 家庭学習に関しても、児童・教職員と保護者の数値に開きがあった。学校では宿題を確実に提出させて定着を図っているものの、家庭では宿題はするが習慣が身に付いているとは言えないと保護者が判断しているものと捉えている。今後も、家庭学習の重要性について児童に根気強く指導し、今まで以上に家庭と連携しながらその習慣化を図れるよう努めていききたい。
		学習指導	わかりやすい授業を行っている	94	91	
	教育課程	家庭学習の習慣が身に付いている	89	77	100	
		キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	95	78	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	93			

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	94	90	88	「運動」に関しては、昨年度よりも4.9%高くなった。これは、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、新しい生活様式に沿った運動を最大限実施してきたことによるものだと考える。今後も、感染予防に努めながら、最大限児童の体力がつかような取組を実践していきたい。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	89	84	80	
		体力向上に努めている	81	82	100	
食育	食に関する教育活動を行っている	83	83	88		
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97	98	96	「信頼される学校」については、どの項目も高い数値になっている。保護者や地域の皆様に支えられながら、本校の教育活動が実施できている。「職員の資質向上」については、教職員の数値が昨年度より20%高くなった。今年度は、研究主任を中心として、これまでの平和教育資料を整理し、必要に応じて加除修正を加えてわかりやすくまとめたことによるものだと考える。今後、教職員が入れ替わっても、城山小学校の平和教育がしっかりと受け継がれていく土台が出来上がった。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる		92	92	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている		95	92	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	85	92	96	「職場環境」に関しては、日頃から業務改善を意識し、一つ一つ課題を改善していったことで5.2%上昇した。具体的には、朝の欠席遅刻連絡に安心メールやクロームブックを使って電話での対応時間を減らしたり、校務支援システムを使って職員会議等の時間を短縮したりした。今後も、教職員が働きやすいと感じる職場づくりに努めていきたい。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			92	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

成果：総合的に見て、どの項目も高い数値になっている。特に、職員の「職員資質向上」「職場環境」の評価は高い数値であり、「働き方改革」の意識が浸透している。

課題：一般的に昨年度より改善されつつも、「あ・は・は運動」に関しては児童・教職員の数値が低く、昨年度よりも5%以上低下していた。

対策：これを受けて早急に全教職員でこのことを認識し、各学級で児童に指導し浸透を図った。また、年度初めにプリントを配布しているが、その際も各学級で確実に指導すること・年間をとおして継続して指導していくことを実践していきたい。さらに、育友会とも連携し、学級懇談会でのテーマにするなどして、意識の向上を図っていきたい。

6 学校関係者評価

- 全体的に肯定的評価の割合が高いことに感心した。コロナ禍の中でも、城山小の職員が一丸となって活動に取り組んできている、またより良いものを目指して協力体制で取り組んでいることがよく分かった。
- 100%を目指すべき項目が達成できていないことは取組の強化や改善が必要だと感じる。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- 全体的に肯定的評価は高めであるが、数%の少数否定的評価の意見もしっかりと受け止めていく必要がある、とご意見をいただいた。一つ一つの項目について詳しく分析し、それに対応していきたい。
- 来年度も学校目標や学校経営方針を具現化し、今回のアンケートや学校関係者評価委員会でいただいた意見を真摯に受け止め、学級経営及び授業改善に取り組み、支持的風土の醸成に努める。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。